

# 1. 法定速度の遵守とスピード管理の徹底

- ☆ 横転事故の主な要因は、「スピードの出し過ぎ」・「急ブレーキ」・「急ハンドル」によるものであります。
- ☆ 被害事故であっても、制限速度を越えて走行すれば過失を問われます。  
チャート紙、デジタコによる安全運転のチェックを行い、常に危険物を配送しているという意識を持たせて下

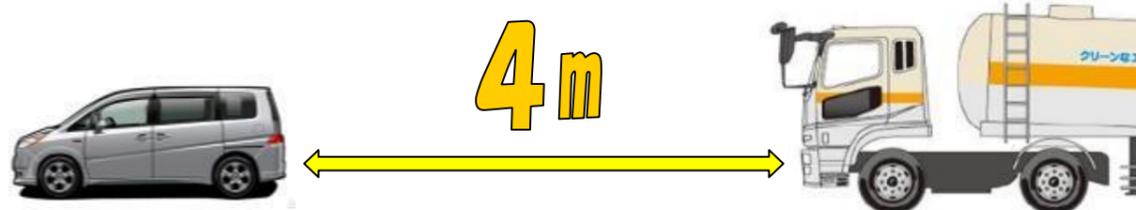


「急がず・慌てず・焦らず」周りに配慮したやさしい運転を行いましょう

# 2. 4m4秒ルールの徹底

- ☆ 4mの停止距離、4秒の車間距離を確保することは、余裕のある運転に繋がり、前方で発生した事故等に対応するため、特に追突・衝突防止に有効なルールです。
- ☆ スピードを控え、車間距離を十分に確保すれば衝突事故は防止できる。

	空走距離		制動距離	=	停車距離
時速60km	17m	+	27m	=	44m
時速80km	22m	+	54m	=	76m



停車する時は、前のクルマとの間を4m以上空ける。

# 4. 交差点内の走行注意

- ☆ 交差点内は危険地帯、右左折は細心の注意を払い、通過するときは徐行しましょう。



# 3. 2秒後発進の実践

- ☆ 前車の動きに注意し、前車が動いてから一呼吸入れて、左右、後方の安全を確認してから発進する。
- ☆ 交差点・信号待ち・渋滞時の衝突事故は防止できる。



信号赤で停車中の大型車

前方の大型車を見ている為、普通乗用車が視覚に入っていない



信号青で発進

停車中

大型車が動き出し、ローリーも発進、前の乗用車が停車中で追突